



小阪中学校区 一貫教育

2021年4月23日 金曜日
(令和3年)

第1号

© 小阪中学校区一貫教育担当

東大阪市立小阪中学校

〒577-0805

大阪府東大阪市宝持1-7-5

電話 06-6721-6700

FAX 06-67219844



東大阪市立 「菜の花学園」
小阪中学校 校長
大里 秀幸
(おおさと ひでゆき)

平素は、小阪中学校区五校園の教育活動に、多大なるご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度も力を合わせ、園児・児童・生徒の成長を促す教育活動に励んでまいります。変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍の中、令和3年度が始まりました。教育委員会から出された「対策マニュアル」に則り、感染症対策を実施し、子どもたちの「学び」を進めてまいります。

新しい学習指導要領が、こども園では2018年度より、小学校では昨年度より、中学校では今年度より完全実施されました。また、小中学校におきましては、「GIGAスクール構想」の下、1人1台のタブレットPC端末を活用し、学習活動を進めることとなります。

日本の学校におけるICTの活用状況は、この10数年間、OECD加盟国中、最下位。2018年のPISA(国際学力調査)等の結果をもとに出されたのが「GIGAスクール構想」です。当初、4年間をかけて1人1台を実現する予定でしたが、今次の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、オンライン授業等の必要性も鑑み、1年で完了することとされました。新しい学習指導要領と「GIGA

スクール構想」によって、「令和の日本型学校教育」をめざすこととなります。

具体的には、「個別最適な学び」と「協働的な学び」。一人ひとりの特性や到達度に応じて最もふさわしい学びができるように、また、さまざまな背景を持つ人たちが協力し合い、チームとして学びを進めていこうということです。そのためにも思考力や判断力、表現力をつける授業の展開が求められることとなります。

そういった力の育成のためには、就学前から、小学校、中学校に至る一貫した考え方のもとに学習を進めていく必要があります。

小阪中学校区五校園におきましては、子どもたちの将来に必要なスキルの習得のため、教職員一同、研修を重ね、怯むことなく、前向きに進めてまいります。なにぶん、初めてのことで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



東大阪市立 「菜の花学園」
小阪小学校 校長
小藪 由子
(こやぶ よしこ)

夢や希望をもち、

新しい時代を生きる力を

小阪小学校に赴任し、2年目を迎えました。昨年度はこれまで以上に保護者の方や地域の方、また愛ガドの方のご協力をありがたく感じました。改めて感謝申し上げます。今年度は、4月に子どもたちと出会うことができ、「当たり前前に

できること」が本当に幸せなことだと実感しています。さて、このコロナ禍において「情報を正しく扱う力」や「自分の命や健康を守る力」など、社会の変化に対応する力がとても大切だと改めて感じました。これからインターネット上

に溢れる情報の中からフェイクを見抜く、自然災害等が起きた時に自分の命を守る行動ができる、といったような「生きる力」が必要となってきます。本市で実施されている一貫教育の取り組みの一つである「夢TRY科」ではその「生きる力」を育てています。今年度も5校園が連携しながら、子どもたちそれぞれが思い描く夢の実現に向け、一貫教育に取り組んでまいります。みなさまのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



東大阪市立 「菜の花学園」
八戸の里小学校 校長
植村 佳央
(うえむら よしひで)

地域の皆様方へ改めて感謝の気持ち

4月6日、72名の新1年生を迎え、全校児童417名で新年度をスタートしました。

始業式の日、校区内を巡回していると、愛ガドの方々が早速、子どもたちの登校を見守ってくれていて、改めて感謝の気持ちを感じました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で、地域の行事やまつりなどがほとんど中止となりました。また学校に来ていただく機会を持つことができず、子どもたちのがんばっている様子を見ていただくこともできませんでした。しかし、お陰様で子どもたちは日々大きく成長しています。今年こそは地域の皆様に学校での元気な姿を見ていただきたいと思います。

願っています。東大阪市では、小中一貫教育は3年目となり、コミュニケーションスキル制度の導入を見据えることも検討され、今後さらに学校園・地域・保護者が一体となり、子どもたちの成長を見守っていくことが大切になってきます。これからもみなさんのご支援をよろしくお願い申し上げます。



東大阪市立 「菜の花学園」
八戸の里小学校 校長
山田 要子
(やまだ としこ)

0歳から15歳までの一貫教育

わたしが八戸の里東小学校に着任し3度めの春を迎えました。4月に90名の新入生を迎え、519名(十教職員43名)で八戸の里東小学校の新年度をスタートしました。1年前は臨時休校の中、子どもたちの姿のないさびしい新年度でしたので、4月にそろって入学・進級をお祝いできることよろこびをひしひしと感じております。まだまだ「いつもどおり」の学校生活とはいきませんが、子どもたちは日々、元気な姿と新しいことを創りだすたくましさを感じました。これを見せかけています。わたしたちも、この子どもたちの姿を見習ってしっかりと協力して前に進んでいきたいと思っています。

さて、東大阪市のすべての中学校区で小中一貫教育が実施され、こちら3年めになります。この小阪中学校区では、5校園がそれぞれの学校園の特色を生かしながら、またよいところを学びあひながら、「0歳から15歳までの一貫教育」に取り組んでいます。この温かい地域で育った子どもたち一人ひとりが、夢を持ち、自らの力で未来を切り拓いていけるように、こども園・小学校・中学校がさらに連携を深め、取り組んでまいります。どうぞみなさまのあたたかいご指導ご支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。



東大阪市立 「菜の花学園」
小阪こども園 園長
下岡 知子
(しもおか ともこ)

うれしいーだーいすきー

「笑顔がみんなのたからもの」

0歳児から始まる学びへのプロムナード一人一人の豊かな成長をめざして、

こども園が開園して5年目となりました。コロナウイルスに伴う大変な社会情勢の中ですが、皆で力を合わせて日々の園生活をおくっています。厳しい状況の中ではありますが、こども園において大切にしていきたい事は変わりません。

「小阪こども園が大切にしていること・・・それは・・・食べる・寝る・抱きしめられること」

日々の当たり前の生活の中に、学びがあふれています。こどもの素朴な疑問やつぶやきの中に、試してみたい・やってみてほしいという意欲につながります。そして、最初は一人で感じていたことが、身近な誰かに伝えたい、そして一緒に・・・したい。という思いへつながっていきます。

こども園において教育の始まりは、まず、人とつながり合うことだと思っています。多くの人と出会い、自分たちが愛されていることを実感できる環境づくりをめざしていきたいと思っています。コロナ過の中、おとなもこどもも、苦しい時だと思っています。

けれども、やまない雨が来ないように・・・明けの夜がないように・・・いつか皆が笑顔で元の生活が過ごせる日を夢見て、頑張りたいと思います。

よろしくお願い申し上げます。